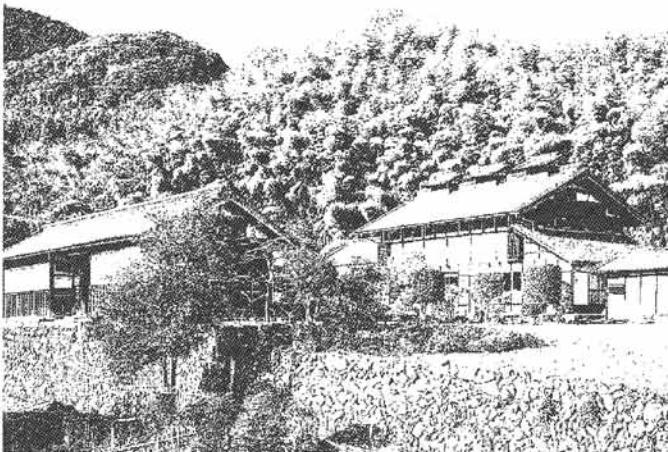
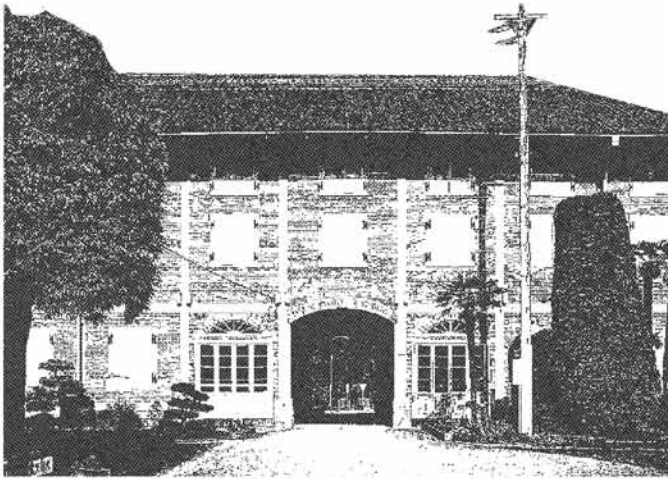


平成27年度
「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報



平成27年度
「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報

群馬県

ごあいさつ

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、国内で18件目となる世界遺産として平成26年6月に登録されました。その歓喜から早くも2年半が経過した今も、富岡製糸場、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴の4つの構成資産には大変多くの方にお越しいただいており、平成27年度の各構成資産への来訪者数は、世界遺産登録前である平成25年度と比較すると約3.6倍となりました。

その平成27年度は、各構成資産の保存修理が本格化したほか、登録1周年記念行事の実施、文化庁の新たな制度である「日本遺産」に「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」が認定されるなど、登録年度に続き様々な動きがありました。このほか、県では「絹文化継承プロジェクト」を立ち上げ、県内の小学生には養蚕を体験してもらい、中学生には絹に関する地域の歴史を調べてもらうなど、本県の世界遺産を育んだ絹産業の文化を、次の世代に継承するための取り組みを本格化しました。

今後も、世界遺産としての価値を確実に守りつつ、景観の整備や来訪者の受入体制の更なる充実を行うため、県と市町で連携して取り組んで参ります。

結びに、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を将来の世代に確実に引き継ぐため、文化庁や関係自治体をはじめ、専門家の皆様、地元の皆様など、多くの皆様に引き続き御支援を賜りたくお願い申し上げます。

平成29年2月

群馬県知事

大澤正明

例 言

1. 本書は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録年度を起点とし、各年度における出来事や、保存修理、モニタリング結果、普及啓発及び調査研究等の事業の実施状況の概要を年度ごとに記録して冊子としてまとめることで、今後の世界遺産関係事業の実施のための参考とするとともに、本書を公開し、世界遺産を将来の世代に継承するための取組について広く周知することを目的として作成したものである。
2. 本書の編集は富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町の協力のもと、群馬県企画部世界遺産課が行った。

目 次

第1章 平成27年度の主な出来事	
1 世界遺産登録1周年記念事業	… 2
2 大規模修理が本格化	… 4
3 「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」の 日本遺産認定	… 6
第2章 構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況	
1 主な文化財保存事業の実施状況	… 10
2 主な現状変更及びき損届一覧	… 12
3 群馬県世界遺産協議会及び 有識者委員会の実施状況	… 15
4 各構成資産への来訪者数の推移	… 17
5 周辺整備の状況	… 19
6 群馬県及び各市町における基金の状況	… 20
7 調査研究事業の実施状況	… 21
8 ぐんま絹遺産	… 22
第3章 普及関連事業の実施状況	
1 絹文化継承プロジェクト	… 24
2 シルクカントリーぐんま 「絹の国サミット」	… 28
3 富岡製糸場における暫定展示の拡大	… 29
4 各市町における普及関連事業	… 30
5 主な民間の活動	… 31
6 群馬県及び各市町からの発行物一覧 群馬県提供写真利用許諾件数	… 32

利用案内

世界遺産登録1周年記念行事の様子



世界遺産登録1周年記念式典・国際シンポジウム（平成27年10月4日 富岡製糸場東置繭所）



富岡製糸場世界遺産登録1周年記念行事（平成27年6月21日）

大規模保存修理の様子



富岡製糸場西置繭所に設置された
保存修理工事の見学施設



日没後の作業のために照明が点灯



高山社跡・長屋門解体修理



長屋門解体状況

絹文化継承プロジェクト



小学校での蚕の飼育の様子



飼育の記録



できあがった生糸



完成した校旗



絹文化継承プロジェクト発表会



校旗やキャラクターと一緒に記念撮影

日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」



日本遺産ロゴマーク



中之条町での養蚕の様子（桑摘み）



中之条町六合赤岩重要伝統的建造物群保存地区



織物参考館“紫”（桐生市）



後藤織物（桐生市）での機織りの様子

第 1 章

平成27年度の主な出来事

1. 世界遺産登録1周年記念事業

世界遺産登録1周年記念式典・国際シンポジウム（平成27年10月4日）

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録1周年を記念するとともに、その国際的な価値を広く周知するため、富岡製糸場開業記念日である同日に、記念式典と国内外の専門家を招いた国際シンポジウムを開催した。

式典に先立ち、「海外の絹産業遺産・絹産業技術史の専門家による事例発表」として、2名の海外専門家から発表が行われた。中国国立シルク博物館の張毅副館長からは「協力と交流により、絹工業遺産の共同保護を」と題し、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録の世界的な意義とその活用や研究の提案、中国における産業遺産保護の事例が報告されたのち、世界的な協力体制の整備が提案された。続いて、台湾の国立清華大学歴史研究所の毛傳慧准教授から「世界史の観点から見た『富岡製糸場と絹産業遺産群』に関する考察」と題し、フランスや中国における養蚕製糸技術の発展と日本における更なる改良について発表された。



中国国立シルク博物館 張毅副館長



国立清華大学（台湾） 毛傳慧准教授

式典には、大澤知事や構成資産の所在する富岡市の岩井市長、伊勢崎市の五十嵐市長、藤岡市の新井市長、下仁田町の金井町長をはじめ、群馬県選出の国会議員、文化庁、県議会議員、県内市町村長など約200人が出席した。関係者のあいさつや祝辞に続き、世界遺産登録による喜びにあふれた1年間を振り返る映像の上映を行った。



あいさつする大澤知事

その後、国際イコモスアドバイザーのミシェル・コット氏（フランス）による「富岡製糸場と産業遺産：歴史から現代まで」と題した講演が行われ、海外から見た「富岡製糸場と絹産業遺産群」の産業遺産としての国際的な価値の説明や、海外における産業遺産の活用事例について紹介された。

続いて行われたパネルディスカッションでは、日本イコモス国内委員会副委員長の苅谷勇雅氏をコーディネーターとし、先に登壇した3名の海外専門家に加え、東京大学大学院教授の鈴木淳氏をパネリストに迎え、「『富岡製糸場と絹産業遺産群』への期待」と題して活発な意見交換が行われ、世界遺産として海外との更なる交流の活発化などの提言がなされた。



国際イコモスアドバイザー ミシェル・コット氏



パネルディスカッションの様子
(左から 苅谷勇雅氏、ミシェル・コット氏、張毅氏、毛傳慧氏、鈴木淳氏)

2. 大規模修理が本格化

「富岡製糸場と絹産業遺産群」を構成する各資産は、いずれも完成から100年以上が経過しており、将来の世代に継承するために根本的な保存修理が必要な状態となっている。そのため、各市町では、保存管理や整備活用に係る計画を策定（策定中を含む）し、計画的な保存修理に着手することとなった。

（1）富岡製糸場

富岡市では、平成24年10月に策定された「史跡・重要文化財（建造物）旧富岡製糸場整備活用計画」に基づき、今後30年に及ぶ建造物群の保存修理が計画されており、その最初となる西置繭所の修理が平成26年度から6箇年計画で開始された。平成27年度はその2箇年目にあたり、本格的な解体工事が慎重な調査と並行して実施された。

・西置繭所

西置繭所は、富岡製糸場の創業当時（明治5年、1872年）、繭を貯蔵しておくために建設された施設であり、国宝に指定されている3棟（このほかに繰糸所、東置繭所）の建造物のうちのひとつである。建設から140年以上が経過し、劣化が進み、耐震化も必要であることから、一部解体を伴う本格的な保存修理に着手した。平成27年度においては、解体を実施するために必要な素屋根が設置され、西置繭所は仮設の足場と屋根、そしてシートに完全に覆われた。その後、屋根瓦の確認調査と取り外しが行われたほか、床組、ベランダ手すり、建具の一部などが解体された。なおこの解体工事の様子は、平成28年1月に設置された有料の見学施設において、一般の見学者に公開されている。



西置繭所の解体工事（素屋根の内部）



西置繭所保存修理工事見学施設

・乾燥場

乾燥場は、運び入れた生繭を蛹が羽化しないように殺蛹し、貯蔵のために乾燥させることを目的として大正11年（1922年）に建設された施設である。平成26年2月に県内に大きな被害をもたらした大雪により、広範囲にわたり倒壊するなど、場内で最も大きな被害を受けた。平成27年度においては、平成26年度に続いて、倒壊のない隣接した部分についても保存修理を行うため、一部解体を行い、復旧作業に向けて部材や機械類が保管された。

(2) 高山社跡

藤岡市では、平成25年3月に策定された「史跡高山社跡整備活用基本計画」に基づき、平成30年度までの保存修理や整備活用が計画されている。平成27年度は焚屋（風呂や炊事に用いられたと考えられる建物）及び外便所の保存修理が完了したほか、長屋門の保存修理に着手した。

・焚屋及び外便所

焚屋及び外便所は、母屋兼蚕室に隣接した現存する建物である。建築年代は不明であるが、いずれも明治24年（1891年）の家相図にその存在が描かれている。いずれの建物も屋根や壁、建具の損傷が激しく、早急な修復が必要な状況であったが、平成26年に開始した復原工事が平成27年10月に完了し一般に公開された。



復原工事を終えた焚屋（左）と外便所（右）

・長屋門

長屋門は、江戸時代の建築と伝えられ、高山社の古写真でも確認することができる。当初は、建材の腐朽状態や改築・補修の痕跡調査を行いつつ、ジャッキアップし腐朽部分を交換する半解体工事を予定していたが、予想以上に部材の腐朽・損傷が激しかったため、全解体工事に変更となった。長屋門全体を保護する素屋根とシートが設置され、内部で保存修理作業が進められている。平成29年度に復原工事が完成する予定である。



解体前の長屋門



長屋門の解体作業の様子

3. 「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」の日本遺産認定

(1) 日本遺産事業

日本遺産は、文化庁が平成27（2015）年に立ち上げた新しい事業で、これまでの「保存」重視の文化財行政に加えて、「活用」を重視するものである。「地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する（文化庁日本遺産パンフレットから引用）」ものである。

個別の文化財ではなく、ストーリーを認定するというのが、今までの文化財指定等と全く違うところであり、日本遺産を国内外に積極的かつ戦略的に発信していくことで、外国人観光客の増加や地域活性化に繋げることが考えられている。

平成27（2015）年4月の初回審査には、全国から83件の申請があり、そのうち「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」を含む18件が日本遺産に認定された。

(2) 「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」

「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」は絹産業に従事した女性の活躍の物語であり、桐生市・甘楽町・中之条町・片品村に所在する計12件の文化財が、ストーリーの構成文化財である。

文化庁から第1回の日本遺産のストーリー募集があったのは、平成27（2015）年1月のことで、前年の平成26（2014）年6月には「富岡製糸場と絹産業遺産群」がユネスコ世界遺産委員会で世界遺産に登録されていた。世界遺産としての価値は、「良質な生糸の大量生産に関わる技術革新と国際的な技術交流」であるが、県内には他にも多様な絹遺産・絹文化が残されており、その普及啓発が課題となっていた。

そこで、上州名物といえば「かかあ天下と空っ風」であり、絹産業に従事した女性の活躍のストーリーを日本遺産に申請することを考え、県はぐんま絹遺産を有する市町村に働きかけ、賛同する市町村とともに提案を行った。

「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」が日本遺産認定を受けたことで、今後は世界遺産・日本遺産・ぐんま絹遺産を連携させ、多様な絹遺産の継承と活用を図っていく。

<認定されたストーリーの概要>

古くから絹産業の盛んな上州では、女性が養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると、製糸工女や織手としてますます女性が活躍した。夫（男）たちは、おれの「かかあは天下ー」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物になるとともに、現代では内に外に活躍する女性像の代名詞ともなっている。

「かかあ」たちの夢や情熱が詰まった養蚕の家々や織物の工場を訪ねることで、日本経済を、まさに天下を支えた日本の女性たちの姿が見えてくる。

<構成文化財一覧>

	名 称	所在地	説 明
1	富沢家住宅	中之条町	江戸時代後期の大型養蚕農家
2	六合赤岩伝統的建造物群保存地区	中之条町	明治後半から昭和中期にかけての養蚕農家集落
3	永井流養蚕伝習所実習棟	片品村	永井いとが亡夫の遺志を継いで設立した伝習所
4	旧小幡組製糸レンガ造り倉庫	甘楽町	組合製糸甘楽社小幡組の繭倉庫
5	甘楽町の養蚕・製糸・織物資料	甘楽町	甘楽町で使用された養蚕等の道具や史料
6	甘楽社小幡組由来碑	甘楽町	女性の活躍が記された組合製糸の碑
7	白瀧神社	桐生市	桐生に織物の技術を伝えた白瀧姫を祀る神社
8	旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟	桐生市	大規模撚糸工場の事務所棟
9	桐生新町伝統的建造物群保存地区	桐生市	桐生織物の中心地。織物工場や寄宿舍等が残る
10	後藤織物	桐生市	明治初期からの織物工場。現在も帯地等を生産
11	織物参考館“紫”	桐生市	旧鋸屋根工場等を利用した体験型織物博物館
12	桐生織物会館旧館	桐生市	桐生織物同業組合の事務所



第2章

構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況

1. 主な文化財保存事業の実施状況

平成27年度に各構成資産で行われた主な文化財保存事業については以下のとおりである。

(1) 富岡製糸場

①西置繭所（詳細は第1章2（4頁）を参照）

建設から140年以上が経過し、経年劣化に伴う保存修理及び耐震化が必要であることから、一部解体を伴う本格的な保存修理に着手するため、設計監理業務委託契約を締結し、現地調査及び設計監理を行った。また、仮設解体工事契約を締結した。（次年度以降も継続）

②乾燥場・繭扱場ほか2棟保存修理工事（詳細は第1章2（4頁）を参照）

平成26年2月の大雪により被災した乾燥場、繭扱場、動力室、小粋置場について保存修理を実施するため、解体調査工事を行った。これに伴い、損傷がない部分に関しても保存のため、解体調査を行った。（次年度以降も継続）

③便所整備工事实施設計

来場者の増加や今後の多様で魅力的な活用に対応するため、社宅76に隣接する新設便所の実施設計を行った。

④南面崩落対策工事

平成24年度に富岡製糸場の南側を流れる鑛川に面している法面中段部が崩落した。法面の風化と砂岩のオーバーハングが見られたため、史跡保護を目的とした恒久工事として、幅およそ30mの範囲について崩落対策工事を行った。（次年度以降も継続）

⑤社宅76保存整備工事实施設計

経年劣化による老朽化が進んでいるため、対策として保存整備工事に着手するための実施設計を行った。整備後は、体験や交流のためのスペースとして活用する予定。

⑥発掘調査

首長館南側、社宅76周辺、乾燥場コンクリート土間等、約800㎡の発掘調査を行った。

(2) 田島弥平旧宅

①主屋以外の建造物調査

桑場、表門、裏門、東門、氏神様、井戸上屋、蚕具置場について平面図、断面図、立面図等を作成し、保存整備の実施に向けた基礎データを得た。

(3) 高山社跡

①焚屋・外便所保存修理工事（詳細は第1章2（5頁）を参照）

高山社跡敷地内にある建物のうち、特に破損が進んでいる焚屋と外便所について調査を行い、解体し、復原工事を実施し、平成27年10月に完了した。

②長屋門修復・補強工事实施設計（詳細は第1章2（5頁）を参照）

当初は半解体工事が予定されていたが、建材の腐朽状態や改築・補修の痕跡調査の結果、予想以上に部材の腐朽・損傷が激しかったため、全解体工事に変更となり、平成29年度まで継続することとなった。

(4) 荒船風穴

① 荒船風穴管理棟（番舎）跡等周辺遺構確認調査

荒船風穴蚕種貯蔵所の創業当時に使用されていた作業道、管理棟下の建屋施設の位置確認を目的とし実施した。実施方法は手掘りによるトレンチおよびグリッドの設定により、古写真から遺構の存在可能性が高い箇所限定して行い、屋敷地区から荒船風穴へ至る搬出通路の位置も調査した。また、土砂流出が著しく土嚢を積んで応急措置を行っていた部分に対して土留め石積みを行った。調査を行った結果、番舎から3号風穴までの間の石段遺構の位置、番舎北の作業小屋跡内部からモルタルの貯水槽、屋敷から3号風穴への搬出通路を確認した。



番舎から3号風穴間の石段遺構を確認



番舎北作業小屋跡内から貯水槽を確認

② 石積み調査復旧事業

1号風穴への作業通路下部の石積で一石抜け落ちていた箇所への緊急対応を実施した。石材は史跡内に残るものを使用し、空隙部分には石割加工をしたものを打ち込んだ。

③ 遺構・隣接地岩塊破損危険箇所への定点設置、観測

石積の不具合が生じている場所、隣接地岩塊で今後施設に影響を与える可能性が大きい岩塊など19か所に定点を設置し、歪みなどの変化を継続的に把握するため、伸縮計を設置し観測を実施した。平成27年度は9月と2月の2回観測した。

2. 主な現状変更及びき損届一覧

平成27年度 文化財保護法に基づき現状変更等届一覧

富岡製糸場

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	富岡市長	東繭置所への座繰り及びフランス式操糸機設置、展示会及び売店開設に伴う設備等の設置	H27.4.23	H27.4.27	富岡市教育委員会教育長	H27.4.27～5.10	H27.5.11
2	富岡市長	東置繭所への座繰、繰糸機設置、シルクブランド展示に伴うケース照明設備の設置	H27.5.8	H27.5.8	富岡市教育委員会教育長	H27.5.11～H28.3.31	
3	富岡市長	総合案内所説明板及び総合案内板の各1か所設置	H27.5.9	H27.5.12	富岡市教育委員会教育長	H27.5.15	H27.5.17
4	富岡市長	総合案内所窓口の設置	H27.5.11	H27.5.12	富岡市教育委員会教育長	H27.5.13	H27.5.18
5	富岡市長	東置繭所1階北側に、田島弥平旧宅・高山社跡・荒船風穴の模型及び説明看板の設置等	H27.6.11	H27.6.19	富岡市教育委員会教育長	H27.6.19～8.31	H27.9.3
6	富岡市長	西置繭所保存修理工事に伴い、工事搬入路を設置。シート・敷砂を施工した上に敷鉄板を設置	H27.6.17	H27.6.17	富岡市教育委員会教育長	H27.6.17～7.10	H27.7.10
7	富岡市長	電源容量不足解消のため高圧受電施設と電柱（引き込み柱）1本を設置	H27.6.25	H27.7.17	文化庁長官	H27.7.17～8.31	H27.11.20
8	富岡市長	東置繭所1階南側の常時公開に伴い、空調機器の設置	H27.6.30	H27.7.1	富岡市教育委員会教育長	H27.7.1～10.31	H27.11.9
9	富岡市長	2014年2月の大雪により倒壊した動力室及び小桝置場内にあった機械を、現状屋外から保存小屋へ移動し、格納保管	H27.8.11	H27.9.18	文化庁長官	H27.9.18～10.9	H27.10.13
10	富岡市長	不審なインターネット投稿があったため、入場者の手荷物検査用に仮設テントを設置	H27.8.24	H27.8.24	富岡市教育委員会教育長	H27.8.24～9.18	H27.9.18
11	富岡市長	文化財保護等説明看板1基及び建物工事説明看板2基を場内に設置	H27.9.21	H27.9.21	富岡市教育委員会教育長	H27.9.21～10.28	H27.10.28
12	富岡市長	東置繭所2階の一般公開に伴い、仮設階段の設置、見学エリアの整備、安全対策の実施	H27.9.29	H27.9.29	富岡市教育委員会教育長	H27.9.29～H30.12.31	
13	富岡市長	2014年2月の大雪により倒壊した乾燥場、繭扱場の保存修理等に利用する新材や木材の繕いに保存小屋を1棟新設	H28.1.14	H28.2.12	文化庁長官	H28.2.12～H32.3.31	
14	富岡市長	検査人館西側と殿下山北側の既存設置部分に屋外消火栓2基を整備	H28.1.29	H28.1.29	富岡市教育委員会教育長	H28.1.29～3.17	H28.3.17
15	富岡市長	西置繭所保存修理工事見学施設公開に伴う、見学者受付及び備品管理用プレハブを、見学者の安全面及び機材の防犯面から長期間設置	H28.3.2	H28.4.22	文化庁長官	H28.4.22～H32.3.31	
16	富岡市長	東置繭所北側に、田島弥平旧宅・高山社・荒船風穴の構造模型及び説明板の設置	H28.3.10	H28.3.15	富岡市教育委員会教育長	H28.3.15～H33.3.31	
17	富岡市長	病室公開にあたり、既設硝子戸を引き納め透明アクリル板の戸に変更し、見学コースにゴムマット、ユニットフェンス等を設置	H28.3.15	H28.3.15	富岡市教育委員会教育長	H28.3.16～3.31	H28.4.1

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
18	富岡市長	鐮川の富岡製糸場側崖部の崩落対策工事施工済範囲に横ボーリングを実施し、排水構造物を埋設	H28.3.22	H28.5.20	文化庁長官	H28.5.20～ H29.3.31	
19	富岡市長	汽缶場屋根の修理にあたり、南北に仮設足場を2基設置	H28.3.27	H28.3.30	富岡市教育委員会教育長	H28.3.30～ 5.31	
20	富岡市長	榛名寮公開にあたり、既設硝子戸を引き納め透明アクリル板の戸に変更し、見学コースにゴムマット、ユニットフェンス等を設置	H28.3.27	H28.3.30	富岡市教育委員会教育長	H28.3.30～ H33.3.31	

田島弥平旧宅

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	伊勢崎市長	桑場北側下屋の修繕、井戸上屋貫材の修繕	H27.8.18	H27.9.18	文化庁長官	H27.12.10～ H28.1.29	H28.2.5

高山社跡

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	藤岡市長	焚屋及び外便所の解体調査、復元修理	H26.6.5	H26.7.18	文化庁長官	許可後～ H27.3.31	H27.11.27
2	藤岡市教育委員会教育長	多言語ガイドシステム導入に伴う送信機器の設置	H26.9.10	H26.9.10	藤岡市教育委員会教育長	許可後～ H27.3.31	H27.3.31
3	藤岡市長	焚屋調査のためモルタルの除去、半截堀削、外便所調査のため堀削、基礎石材補強及び排水計画の検討	H26.9.29	H26.10.29	文化庁長官	許可後～ H27.3.31	H27.11.27
4	藤岡市長	長屋門修理に先立ち、実施設計作成のためトレンチ設定し調査	H27.1.30	H27.2.16	文化庁長官	許可後～ H27.10.30	H27.11.27
5	藤岡市長	地区水道管の布設替え工事に伴う、史跡地内への給水管の布設替え工事	H27.11.6	H27.12.11	文化庁長官	許可後～ H28.3.31	H28.2.9
6	藤岡市長	長屋門の修復・補強工事及び腐朽状態の調査	H27.5.28	H27.7.17	文化庁長官	許可後～ H29.3.31	

荒船風穴

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	下仁田町長	学術調査のための埋蔵文化財発掘調査	H27.2.25	H27.4.17	文化庁長官	H27.4.17～ H28.3.31	H28.3.30
2	下仁田町長	石積み調査復旧事業	H27.2.25	H27.4.17	文化庁長官	H27.4.17～ H28.3.31	H28.3.30
3	下仁田町長	超音波式風向風速計の設置（1号風穴西側石積下）	H27.9.16	H27.9.16	群馬県教育委員会教育長	H27.9.16～ H27.10.1	H27.10.1
4	下仁田町長	木製ベンチ設置（番舎跡）	H27.9.16	H27.9.16	群馬県教育委員会教育長	H27.9.16～ 27.10.1	H27.10.1
5	下仁田町長	落石防護ネットの設置（見学者通路南側）	H27.11.6	H27.11.13	群馬県教育委員会教育長	H27.11.13～ H28.1.31	H28.1.31

平成27年度 文化財保護法に基づくき損届一覧

富岡製糸場

No.	き損場所	き損の状況	き損の生じた日	事実を知った日	き損届日	備考
1	門衛	トラック接触による門衛下屋西北隅部木材の塗装剥がれ及び木材の削れ	H27.4.18	H27.4.18	H27.4.23	史跡
2	診療所	発掘調査中に、養生シート接触し、診療所ガラス1枚破損	H27.6.25	H27.6.25	H27.6.26	史跡
3	社宅71、高圧変電所	雷雨突風により、社宅71の窓ガラス2枚、高圧変電所窓ガラス1枚破損	H27.8.5	H27.8.5	H27.8.7	史跡
4	榛名寮	雷雨強風により、榛名寮窓ガラス2枚割れたとみられる。8月21日巡回時に破損確認	H27.8.5	H27.8.21	H27.8.21	史跡
5	候門所	候門所南の石垣の一部が崩れているのを確認	不明	H27.9.23	H27.9.25	史跡
6	検査人館、繰糸場	検査人館2階和室及び繰糸所のガラス各1枚の破損を確認。原因不明	不明	H27.10.22	H27.10.23	史跡
7	社宅86	社宅86屋根の一部破損を確認。原因不明	不明	H27.12.6	H27.12.10	史跡
8	汽缶場	汽缶場屋根スレートの屋根大波スレート破損、穴抜け等を確認。経年劣化と考えられる	不明	H27.11.21	H28.1.7	史跡
9	男子寄宿舎	男子寄宿舎屋根の軒先垂木が折れ曲がり、野地板や屋根瓦の一部破損を確認。経年劣化と考えられる	不明	H28.1.7	H28.1.14	史跡
10	首長館、男子寄宿舎	平成28年1月18日の降雪が溶け出し、首長館の雨樋が変形。また男子寄宿舎の垂木がき損した	H28.1.19	H28.1.19	H28.1.28	史跡
11	首長館	平成28年1月18日の降雪が溶け出し、首長館の雨樋が変形	H28.1.19	H28.1.19	H28.1.28	史跡
12	繰糸所	繰糸場屋根避雷針部から漏水を確認。経年劣化と考えられる	H28.2上旬	H28.2下旬	H28.3.4	史跡、重要文化財
13	繰糸所	鳩が繰糸場回転高窓ガラスに接触し、ガラス1枚がき損	H28.3.15	H28.3.15	H28.3.24	史跡、重要文化財

田島弥平旧宅

No.	き損場所	き損の状況	き損の生じた日	事実を知った日	き損届日	備考
1		該当無し				

高山社跡

No.	き損場所	き損の状況	き損の生じた日	事実を知った日	き損届日	備考
1		該当無し				

荒船風穴

No.	き損場所	き損の状況	き損の生じた日	事実を知った日	き損届日	備考
1		該当無し				

3. 群馬県世界遺産協議会及び有識者委員会の実施状況

群馬県世界遺産協議会は、県及び構成資産の所在する4市町、またオブザーバーとして「田島弥平旧宅」の緩衝地帯がかかっている埼玉県及び本庄市を構成員とし、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を恒久的かつ確実に保存するため、関係者が相互連携を図りながら、包括的保存管理計画に定める基本方針に基づき、統一的な運用を図ることを目的として、平成24年5月に設置された。

また、世界遺産登録後も、顕著な普遍的価値を次世代に確実に継承するにあたり、学術的・専門的な指導助言を得るため、群馬県世界遺産専門委員会が平成27年2月10日に設置されている。

更に、構成資産が所在する各市町では、世界遺産登録前後から、その価値を将来に継承するための保存修理や活用方法について、有識者による委員会を立ち上げ、複数回にわたり議論を重ねてきた。

ここでは、各会議等の実施状況を簡潔にまとめる。

(1) 群馬県世界遺産協議会

平成27年10月29日	第7回群馬県世界遺産協議会 平成26年度モニタリング調査について協議
平成28年3月9日	第8回群馬県世界遺産協議会（書面開催） 世界遺産登録記念銘デザインについて協議

(2) 群馬県世界遺産専門委員会

平成27年8月3日	第2回群馬県世界遺産専門委員会 平成26年度モニタリング調査について協議
-----------	---

(3) 富岡市

平成27年7月20日	第6回保存修理委員会 西置繭所、乾燥場・繭扱場、社宅76保存修理について協議
平成27年10月12日	第3回整備活用計画実行委員会、第7回保存修理委員会（合同） 西置繭所保存修理、整備活用について協議
平成27年12月27日	第4回整備活用計画実行委員会、第8回保存修理委員会（合同） 西置繭所保存修理、整備活用について協議
平成28年3月21日	第9回保存修理委員会 西置繭所保存修理について協議

(4) 伊勢崎市

平成27年5月29日	第6回田島弥平旧宅調査整備委員会 整備活用基本計画について協議
平成27年9月15日	第7回田島弥平旧宅調査整備委員会 整備活用基本計画、来年度事業について協議
平成27年12月11日	第8回田島弥平旧宅調査整備委員会 整備年代、整備活用基本計画について協議

平成28年 2月12日 第9回田島弥平旧宅調査整備委員会
整備活用基本計画、桑場展示について協議

(5) 藤岡市

平成27年 6月25日 第1回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会
建物修復補強工事について協議

平成27年10月 2日 第2回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会
建物修復補強工事、ガイダンス施設の管理運営について協議

平成27年12月14日 第3回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会
建物修復補強工事について協議

平成28年 2月 4日 第4回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会
建物修復補強工事、ガイダンス施設の管理運営について協議

(6) 下仁田町

平成27年10月 8日 第1回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会
整備基本計画の策定に向けての意見交換

平成27年12月10日 第2回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会
整備基本計画原案について協議

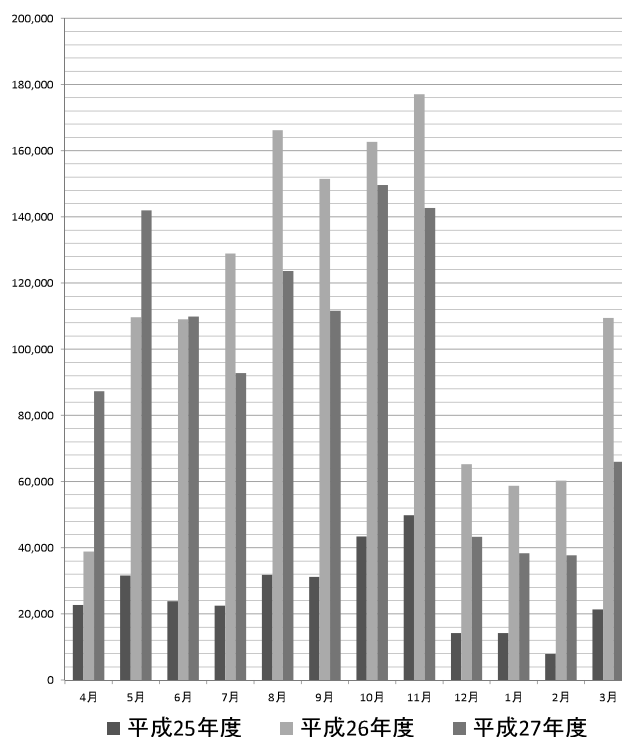
平成28年 3月 4日 第3回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会
整備基本計画原案について協議

4. 各構成資産への来訪者数の推移

富岡製糸場

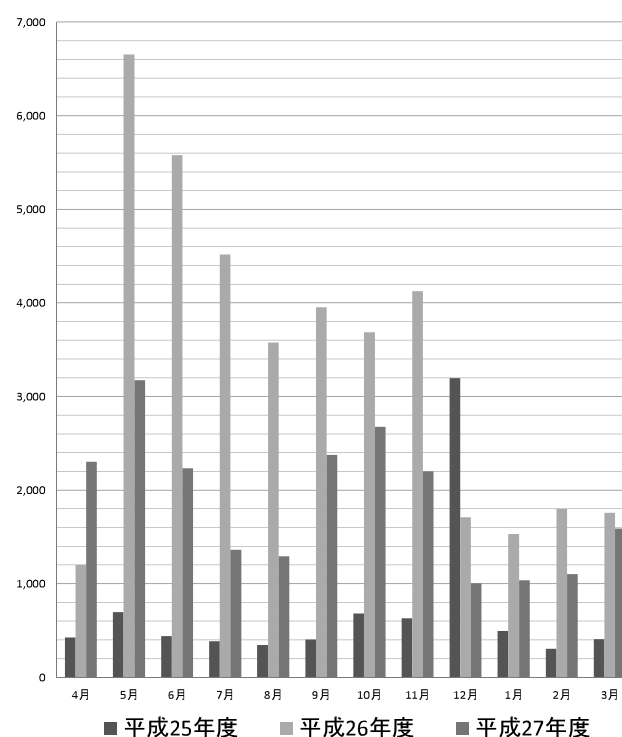
(単位：人)

平成27年度		平成26年度		平成25年度	
4月	87,337	4月	38,821	4月	22,652
5月	141,975	5月	109,703	5月	31,634
6月	109,817	6月	109,064	6月	23,858
7月	92,741	7月	128,925	7月	22,448
8月	123,603	8月	166,168	8月	31,840
9月	111,674	9月	151,534	9月	31,223
10月	149,606	10月	162,685	10月	43,394
11月	142,635	11月	177,071	11月	49,857
12月	43,320	12月	65,232	12月	14,208
1月	38,337	1月	58,769	1月	14,201
2月	37,682	2月	60,289	2月	7,888
3月	65,979	3月	109,459	3月	21,313
合計	1,144,706		1,337,720		314,516



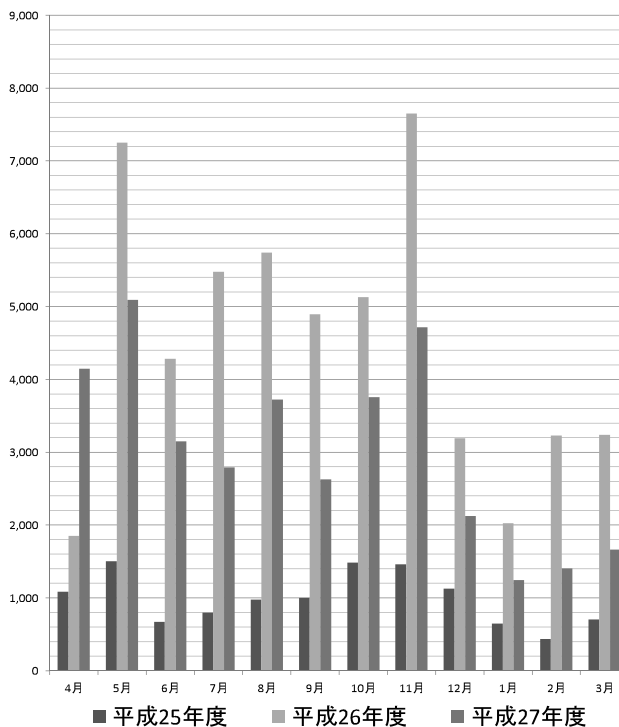
田島弥平旧宅

平成27年度		平成26年度		平成25年度	
4月	2,303	4月	1,201	4月	425
5月	3,173	5月	6,653	5月	698
6月	2,234	6月	5,579	6月	440
7月	1,362	7月	4,517	7月	384
8月	1,294	8月	3,577	8月	346
9月	2,375	9月	3,952	9月	402
10月	2,677	10月	3,686	10月	681
11月	2,199	11月	4,126	11月	632
12月	1,004	12月	1,709	12月	3,195
1月	1,037	1月	1,529	1月	496
2月	1,103	2月	1,799	2月	306
3月	1,590	3月	1,758	3月	409
合計	22,351		40,086		8,414



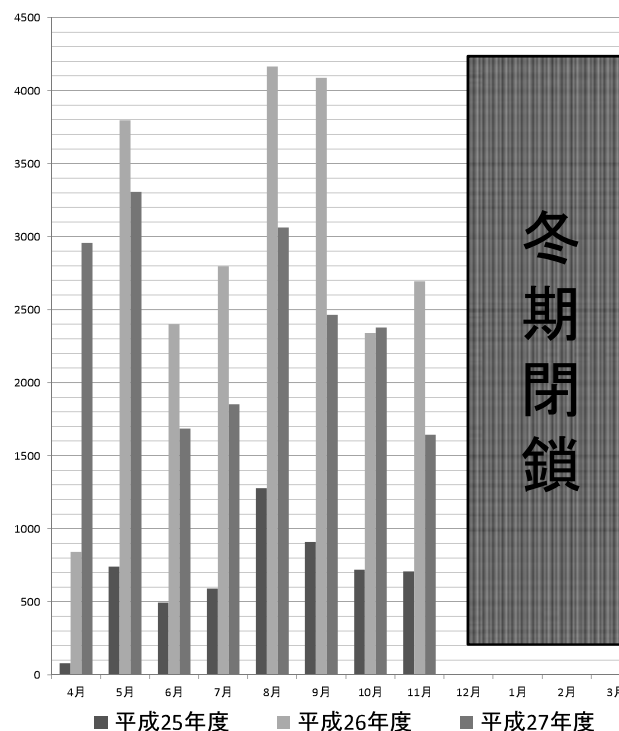
高山社跡

平成27年度		平成26年度		平成25年度	
4月	4,146	4月	1,849	4月	1,086
5月	5,091	5月	7,251	5月	1,505
6月	3,147	6月	4,282	6月	671
7月	2,793	7月	5,478	7月	798
8月	3,724	8月	5,743	8月	978
9月	2,627	9月	4,895	9月	1,002
10月	3,754	10月	5,130	10月	1,486
11月	4,716	11月	7,650	11月	1,461
12月	2,123	12月	3,191	12月	1,126
1月	1,244	1月	2,023	1月	646
2月	1,403	2月	3,228	2月	434
3月	1,663	3月	3,238	3月	702
合計	36,431		53,958		11,895



荒船風穴

平成27年度		平成26年度		平成25年度	
4月	2,956	4月	842	4月	78
5月	3,307	5月	3,797	5月	741
6月	1,685	6月	2,400	6月	495
7月	1,853	7月	2,796	7月	590
8月	3,063	8月	4,165	8月	1277
9月	2,463	9月	4,088	9月	909
10月	2,378	10月	2,340	10月	719
11月	1,644	11月	2,695	11月	708
12月		12月		12月	
1月		1月		1月	
2月		2月		2月	
3月		3月		3月	
合計	19,349		23,123		5,517



※ 12月～3月は冬期閉鎖

5. 周辺整備の状況

世界遺産登録を機に、資産そのものの整備のみならず、緩衝地帯内では見学者のアクセスや利便性向上のための整備や修景等も平行して行われている。

(1) 富岡製糸場

平成26年度に引き続き、観光客の回遊性向上を図るため、まちなか路面舗装工事を実施した。石畳風の路面に整備することで、レトロな街並みと調和のとれた景観づくりを推進した。

また、引き続き多くの観光客が訪れることから製糸場周辺の空き店舗には、建物を改修して新規出店する店がある。

(2) 田島弥平旧宅

田島弥平旧宅の周辺環境の整備については、案内板の設置等を進めた。

また、平成26年12月、田島弥平旧宅の北側に開設した「境島村おもてなし広場」で地元団体「島村蚕のふるさと会」の方々が来訪者に対しておもてなし活動を継続している。

このほか、田島弥平旧宅案内所において、蚕の一生を理解できる写真の展示や、DVDの上映を行った。

(3) 高山社跡

資産の前を流れる三名川の対岸で「藤岡市世界遺産高山社跡交流センター」の整備工事を実施し、竹林の伐採、管理用通路の設置、芝生広場整備等を行った。

また、観光案内コーナーや地元物産の販売スペース、休憩所及び展示室からなるガイド施設「高山社情報館」を建設した。高山社情報館の展示は整備委員会の意見を反映し、高山社分教場の解説や養蚕資料の展示を行い、高山社跡本体と一体的な利用を図る。交流センターへの導入路として昨年度から工事を行っていた新白塩橋は下部工工事完了の後、上部工工事も完了し供用を開始している。

(4) 荒船風穴

3基の風穴へと向かう見学者通路南側にある石積の落石防止のため、石積と見学者通路の間にある杉の木を利用して防護ネットを設置した。

また、見学者広場にある岩塊の隙間から冷風が出ている箇所新たに温度計を設置して、冷風温度の観測を行った。

6. 群馬県及び各市町における基金の状況

群馬県及び構成資産が所在する各市町では、主に世界遺産となった資産を将来の世代に引き継ぐための保存修理や周辺整備、活用を目的として基金を設置している。

(1) 群馬県

「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする「ぐんま絹遺産」の継承に資する事業に役立てるため、平成26年10月17日に「世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金」を設置した。平成27年度には10,317,436円を受け入れ、3,000,000円を文化財保存事業に、3,800,000円をぐんま絹遺産保存活用総合支援事業に充当した。

平成28年3月31日時点 基金残高 14,422,155円

(2) 富岡製糸場

世界遺産・国宝である富岡製糸場の文化遺産としての価値を適切に保存し、後世に引き継ぐとともに、富岡製糸場の保存活用及びその周辺整備事業の財源に充てるため平成20年9月24日に「富岡製糸場基金」を設置した。平成27年度には448,123,738円を受け入れ、20,030,000円を景観形成事業に充当した。

平成28年3月31日時点 基金残高 973,742,174円

(3) 田島弥平旧宅

田島弥平旧宅を活用する事業の財源に充てるため、平成26年12月16日に「伊勢崎市田島弥平旧宅活用基金」を設置した。平成27年度には10,081,123円を受け入れた。

平成28年3月31日時点 基金残高 25,081,123円

(4) 荒船風穴

荒船風穴の保存活用および今後の周辺整備事業の財源に充てるため平成26年9月16日に「荒船風穴基金」を設置をした。平成27年度には5,199,124円を受け入れた。

平成28年3月31日時点 基金残高 10,726,743円

7. 調査研究事業の実施状況

(1) 調査研究事業

事業名	事業主体	内容
富岡製糸場に範をとった器械製糸場についての文献調査	群馬県企画部世界遺産課	富岡製糸場に範をとった器械製糸場について、それら製糸場の地元等で発行された文献のリストアップ
富岡製糸場内発掘調査	富岡市教育委員会文化財保護課	平成23年度から継続。蚕種製造所跡、工女寄宿舎、社宅周辺、西置繭所の外構煉瓦敷き・内部整地状況など調査
生糸履歴調査	富岡市世界遺産部富岡製糸場保全課	富岡製糸場と同時代のフランスを代表する寄宿制絹工場、ボネ工場に関する情報収集
筑波大学松井研究室との共同研究	富岡市世界遺産部富岡製糸場保全課	礎石の劣化防止や建物内の環境調査など、保存科学的観点からの調査研究
旧従業員聞き取り調査	富岡市世界遺産部富岡製糸場保全課	富岡製糸場の女性労働者の労働環境に関する調査の一環としての、旧従業員の聞き取り調査
田島弥平旧宅建造物調査	伊勢崎市教育委員会文化財保護課	整備活用計画等の基礎となる図面作成のための、史跡内建造物実測調査
田島弥平旧宅史資料調査	伊勢崎市教育委員会文化財保護課	田島弥平旧宅の史資料のうち、過去に横浜開港資料館が調査した史資料の再整理
高山社関係文書の資料調査	藤岡市教育委員会文化財保護課	養蚕教師の名前や派遣地、派遣方法など全体像の確認
高山家資料調査	藤岡市教育委員会文化財保護課	群馬県立歴史博物館が所蔵する資料（風呂場普請書類、東蚕室計測図、母屋兼蚕室見積書等）の調査
管理棟（番舎）周辺遺構確認調査	下仁田町教育委員会	荒船風穴蚕種貯蔵所の操業当時で使用されていた「作業道」、「簡易建物」の確認調査

(2) 報告書等の刊行

書名	発行機関	発行日	内容
平成27年度「富岡製糸場と絹産業遺産群」調査研究 田島弥平旧宅関連 田島信孝家（田島武平家）文献調査	シルクカンントリーぐんま連絡協議会（事務局：群馬県世界遺産課）	H28.3.15	田島弥平の本家に当たる田島武平家（現当主：田島信孝氏）に所蔵される文書等の目録
平成27年度「富岡製糸場と絹産業遺産群」調査研究 富岡製糸場に関する聞き取り調査	シルクカンントリーぐんま連絡協議会（事務局：群馬県世界遺産課）	H28.3.16	富岡製糸場の関係者（元従業員、家族、出入り業者等）21名への聞き取り調査
平成27年度 富岡製糸場総合研究センター報告書	富岡市世界遺産部富岡製糸場保全課	H28.3.30	<ul style="list-style-type: none"> ・富岡製糸場の民営化に関する一考察 ・富岡製糸場の首長ポール・ブリュナに対する同時代の評価ーブリュナの受賞歴からー ・富岡製糸場西置繭所保存修理工事関連調査報告、歴史的木摺漆喰天井及び漆喰壁の保存修理についてー欧米の取組み状況を中心にー ・富岡製糸場の蚕種製造所跡についてー埋蔵文化財発掘調査の成果を受けてー
荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書5	下仁田町教育委員会	H28.3.31	「作業道」、「簡易建物」の遺構確認調査の報告書。石段遺構やモルタルの貯水槽、搬出入路を確認した。

8. ぐんま絹遺産

群馬県では、県内各地に残る絹に関連する遺産を再評価し、保存活用を図るため、平成23年度から「ぐんま絹遺産」の登録を行っている。

絹遺産をネットワーク化することにより、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」と各地に残る絹遺産の連携を推進し、本県の地域振興、観光及び文化的事業の新たな核にしようとするものである。また、今も群馬県に息づく養蚕、製糸、織物などの絹産業を、観光文化産業的な面から再生を図る一助とするものでもある。

平成26年度までに91件の養蚕・製糸・織物・流通に関わる文化財等が登録されており、平成27年度は新たに3件を追加登録した。これにより「ぐんま絹遺産」は94件となり、県内の25市町村に所在している。

○平成27年度追加登録

	登録番号	登録日	名称	所在地	文化財指定の状況等
1	第27-92号	H28.2.22	星尾風穴	南牧村	村重要文化財
2	第27-93号	H28.2.22	境赤煉瓦（レンガ）倉庫	伊勢崎市	
3	第27-94号	H28.2.22	養蚕畫解 附褒状	藤岡市	



星尾風穴

明治38年に建立された蚕種貯蔵風穴。蚕種紙が最大で4万枚貯蔵できる規模だった。現在は石積みのみが残されている。



境赤煉瓦（レンガ）倉庫

大正8年に繭の保管庫として建設された。東武鉄道の駅前に位置し、織物業の町の中心的存在であった。



養蚕畫解 附褒状

高山社で学んだ吉田蔦三郎が描いた掛け軸3軸（写真は、蚕児飼育ノ摘要）。明治36年の内国勸業博覧会で受賞した褒状がセットで残されている。

第3章

普及関連事業の実施状況

1. 絹文化継承プロジェクト

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録され、絹産業や絹文化に注目が集まっている。また、群馬県には、「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする絹産業や絹産業が脈々と受けつがれている。しかし、現在では、子ども達がこれらに触れることが難しくなり、次世代への継承が困難になっている。

そのため、群馬県では小学校、中学校、特別支援学校を対象に、小学生には養蚕を体験し、製糸・織物に触れてもらい、また、中学生には身近な人の絹に関する体験や地域の文化を調べてもらう「絹文化継承プロジェクト」を実施した。

(1) 小学生向け「校旗を作ろうプロジェクト」

①内容

- 小学校1校当たり約500頭の蚕を飼育
- 繭を製糸し、できた生糸を利用して100cm×75cmの布を作成
- 布に刺繍や描画で校章をあしらい、校旗を完成させた。

※実施に当たっては、次の絹産業に関係する団体・企業に協力を仰いだ。群馬県には、現在も養蚕・製糸をはじめとする絹産業で活躍する人たちがいる。この事業は、まさに「絹の国ぐんま」を象徴している。

- ・群馬県蚕糸技術センター（蚕種の手配）
- ・J A甘楽富岡（稚蚕飼育）
- ・公益財団法人群馬県蚕糸振興協会（養蚕に係る道具・飼料の手配、学校への養蚕指導員の派遣）
- ・碓氷製糸農業協同組合（製糸）
- ・株式会社アルファテックス（製織・染色）
- ・株式会社笠盛（刺繍）

②事業の実施状況

- 4月 参加校の募集
- 5月 参加校の決定（44校）
- 6月 教員向け説明会及び飼育講習会
 - ・参加校の教員へ、蚕の飼育方法等を説明した。
- 7月 学校での蚕の飼育（4齢からの飼育で約23日）
 - ・各地域で天気や気温などが異なるため、蚕の生育状況に差があったが、合計で37.2kgの繭を収穫した。
- 8月 製糸
 - ・収穫した繭を製糸し、5.8kgの生糸になった。

10月～ 機織・染織

・生糸を原料にして絹布を織り、染色（後染め）した。

12月～ 布に刺繍し、校旗の完成

・できあがった絹布に、校章やオリジナルデザインなどを刺繍し、校旗を完成させた。ある参加校は、養蚕を体験した児童の手形を白い布に押ししたユニークな旗を作成した。

③参加小学校

1	前橋市立桃木小学校	16	伊勢崎市立豊受小学校	31	安中市立松井田小学校
2	前橋市立桂萱東小学校	17	伊勢崎市立殖蓮第二小学校	32	安中市立白井小学校
3	前橋市立元総社南小学校	18	太田市立葦川西小学校	33	榛東村立南小学校
4	前橋市立大胡小学校	19	館林市立第一小学校	34	吉岡町立明治小学校
5	前橋市立月田小学校	20	館林市立第五小学校	35	吉岡町立駒寄小学校
6	高崎市立南小学校	21	渋川市立古巻小学校	36	神流町立万場小学校
7	高崎市立西小学校	22	藤岡市立藤岡第一小学校	37	下仁田町立下仁田小学校
8	高崎市立金古南小学校	23	藤岡市立美土里小学校	38	南牧村立南牧小学校
9	高崎市立宮沢小学校	24	藤岡市立美九里東小学校	39	甘楽町立小幡小学校
10	高崎市立多胡小学校	25	藤岡市立美九里西小学校	40	甘楽町立福島小学校
11	高崎市立岩平小学校	26	藤岡市立日野小学校	41	甘楽町立新屋小学校
12	桐生市立西小学校	27	富岡市立黒岩小学校	42	中之条町立六合小学校
13	桐生市立神明小学校	28	安中市立原市小学校	43	東吾妻町立岩島小学校
14	桐生市立黒保根小学校	29	安中市立秋間小学校	44	県立盲学校
15	伊勢崎市立名和小学校	30	安中市立後閑小学校		



小学校での蚕の飼育の様子



できあがった繭

(2) 中学生向け 「地域の絹の歴史を調べるプロジェクト」

①内容

総合的な学習の時間または夏休みの自由研究等で、家族や地域の絹の歴史の調査（思い出・伝承の聞き取り、古写真の複写、道具の使い方、お祭り等）を行った。

②事業の実施状況

4月 参加校の募集

5月 参加校の決定（6校）

6月 教員向け説明

7月～12月 学校での調査、まとめ

・それぞれの参加中学校で調査が行われた。地域ごとに調査対象のテーマに特色があり、群馬県内の絹文化の多様性が実感できた。桐生市の学校では、織物や水沼製糸、藤岡市は高山社跡、安中市は碓氷製糸農業協同組合などが取り上げられた。

③参加中学校

1	桐生市立黒保根中学校	3	藤岡市立小野中学校	5	安中市立松井田南中学校
2	藤岡市立東中学校	4	安中市立松井田東中学校	6	桐生大学附属中学校

(3) 絹文化継承プロジェクト発表会

絹文化継承プロジェクト参加校の成果を発表する発表会を次のとおり開催した。

○日 程 平成28年1月30日（土）、31日（日）

○会 場 県庁県民ホール北側、ビジターセンター

○内 容

(ア) 絹文化継承プロジェクト発表会（会場：県庁県民ホール）

完成した校旗45枚（※注）及び小学校の取組状況等の展示、中学生が取り組んだ絹の歴史に関する調査結果の展示

※注）桐生市立黒保根小学校が作成した姉妹校西町インターナショナルスクール分を含む。



完成した校旗



完成した校旗



校旗などの小学校の取組の展示



中学校の調査結果の展示

(イ) 絹文化継承プロジェクト学習発表会（会場：県庁ビクターセンター）

参加した小・中学生が、活動を通じて学んだことや感じたこと等を発表するとともに、絹産業に関する講演を行い、学習を深めた。

①小学校の発表（3校）

- ・南牧村立南牧小学校
- ・東吾妻町立岩島小学校
- ・高崎市立西小学校

②中学校の発表（2校）

- ・藤岡市立小野中学校
- ・安中市立松井田南中学校

③講演・演題 人間とカイコの共生

- ・講師 ぐんま昆虫の森名誉園長 矢島稔 氏



小学校の発表



中学校の発表

2. シルクカントリーぐんま「絹の国サミット」

群馬県と上毛新聞社は、世界遺産やぐんま絹遺産をはじめとする県内の絹遺産や、絹に関する歴史文化を活用した新しい地域づくりの更なる強化充実を図るため、平成24年度に「シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会」を発足。この実行委員会が主体となり県内各地で多彩なイベント等を展開している。

平成27年度は「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録1周年を記念して、10月3日を中心に富岡市で普及啓発イベントを実施した。

- (1) 日程：平成27年10月2日（金）～4日（日）
- (2) 会場：富岡製糸場、上州富岡駅前広場等
- (3) 主催：群馬県、群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会、シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会、シルクカントリーぐんま連絡協議会、富岡製糸場世界遺産伝道師協会、フィールドミュージアム「21世紀のシルクカントリー群馬」推進委員会、上毛新聞社（共催：群馬県教育委員会、富岡市）
- (4) 内容：
 - ・「絹の国サミット」開会式（10/3）
 - ・「論文・作文コンクール」・「映像フェスタ」表彰式・発表会（10/3）
 - ・シルクカントリーぐんま絹の国サミット（10/3）
 - 事例発表：原田和彦氏（長野市立博物館学芸員、「六工社と和田英」）、山田鉄哉氏（松ヶ岡開墾場理事長、「庄内藩士の養蚕と田島家」）、谷本進氏（養父市教育委員会教育部次長、「養蚕がつなぐ群馬の世界遺産と養父市」）、伴野豊氏（九州大学大学院准教授、「蚕種の風穴保存復活の試みから学ぶ」）
 - パネルディスカッション
テーマ：絹遺産で縁むすび～保存・活用を共に考える
パネリスト：原田和彦氏、山田鉄哉氏、谷本進氏、伴野豊氏、高木賢氏、今井幹夫氏、コーディネーター藤井浩氏
 - ・モニターツアー「世界遺産物語」（10/2）
 - ・絹の国自慢物産市（10/3、4）（物産市、ゆるキャラショー、絹遺産等のPRなど）
 - ・行ってみよう！世界遺産ゆかりの絹遺産（10/3、4）



「絹の国サミット」パネルディスカッション



絹の国自慢物産市

3. 富岡製糸場における暫定展示の拡大

(1) 暫定展示実施の経緯

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は4つの構成資産でひとつの顕著な普遍的価値を現すものであり、保存のための総括的なマネジメントとともに、総合的な情報発信、解説、調査研究等を行うことが求められている。(世界遺産条約参照)

そのため、群馬県では平成25年度に「富岡製糸場と絹産業遺産群」総合管理活用機構検討委員会を立ち上げ、拠点施設(仮称:世界遺産センター)の設置について検討を行った。しかし、新たな拠点施設の整備には時間を要することから、平成26年4月のイコモス勧告以降に急増した来訪者に対する展示解説が早急に必要となり、拠点施設整備までの間、暫定展示を行うこととした。

(参考)

○世界遺産条約(仮訳)

第4条 各締約国は、第1条及び第2条に規定する文化及び自然の遺産で自国の領域内に存在するものを認定し、保護し、保存し、整備活用し及びきたるべき世代へ伝承することを確保することが本来自国に課せられた義務であることを認識する。このため、締約国は、自国の有するすべての能力を用いて、また、適当な場合には、取得しうる限りの国際的な援助及び協力、特に、財政上、美術上、科学上及び技術上の援助及び協力を得て、最善を尽すものとする。

第5条 (e)文化及び自然の遺産の保護、保存及び整備活用の分野における全国的又は地域的な研修センターの設置又は拡充を促進し、及びこれらの分野における科学的研究を奨励する。

(2) 暫定展示の状況

暫定展示は、最も来訪者の多い富岡製糸場で行っている。富岡製糸場の東置繭所1階北側では、以前から富岡市が富岡製糸場のガイダンス展示を行っており、その一角に世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の全体像を解説するパネルを平成26年9月に設置した。

平成27年度は、7月から富岡製糸場を除く3資産の模型の外観模型の展示を始めた。さらに3月に富岡製糸場を除く3資産の構造や機能がわかる模型を追加した。これにより、外観と併せ、資産内部での空気の流れを視覚を通してわかりやすく解説している。

この暫定展示を通じて、富岡製糸場に集中している来訪者に、世界遺産の全体像を知ってもらい、他の資産を訪れるきっかけを与えると同時に、絹文化や絹遺産が数多く残る群馬県内の周遊に繋がることを期待している。



暫定展示の様子

4. 各市町における普及関連事業

構成資産の所在する4市町においても様々な普及啓発事業が行われた。主な事業は以下のとおりである。

(1) 富岡市

平成27年5月16日～6月14日	S. SHOBEY展
平成27年6月21日	富岡製糸場世界遺産登録1周年記念式典
平成27年6月～7月のうち8日間、 11～12月のうち4日間	富岡製糸場解説員養成講座
平成27年7月28日	富岡製糸場座繰り実演ボランティア養成講座
平成27年7月～8月	世界遺産キッズプログラム
平成27年8月9日	発掘調査現地説明会
平成27年8月～11月のうち9日間	繭と生糸のふれあい体験事業
平成27年10月24日、25日	セミナーワークショップ
平成27年12月5日 ～平成28年1月7日	ウズベキスタン企画展
平成27年2月5日～2月28日	富岡製糸場資料展 「描かれた器械製糸と明治錦絵にみる富岡製糸場誕生の世相」
平成28年2月1、2、15、 16、22、23日	オリジナル糸柀飾りワークショップ

(2) 伊勢崎市

平成27年5月31日	第20回島村渡船フェスタに伴う田島弥平旧宅桑場の公開
平成27年11月8日	田島弥平旧宅「秋の特別公開」と「菊花展」の開催

(3) 藤岡市

平成27年5月4日～6日	ららん藤岡パネル展資料展示
平成27年6月20日～8月30日	企画展「日本を導いた高山社 ～養蚕教師の足跡～」関連企画
①平成27年6月28日	講演会「世界文化遺産への道」
②平成27年7月26日	子ども体験教室「機織りを体験してみよう」
③平成27年8月23日	高山社顕彰会勉強会「これからの高山社の課題」
平成27年7月18～19日	藤岡祭り世界遺産フェア
平成27年8月1日	長屋門修復・補強工事（第1期工事）現場公開
平成27年6月～平成28年2月	「高山社学」現地見学（市内の全小学4年生・中学2年生）

(4) 下仁田町

平成27年10月28日、29日	発掘調査現地説明会（番舎遺構確認調査で確認された石段遺構、貯水槽跡を中心とした説明）
平成27年11月1日	荒船風穴世界遺産登録1周年記念ハイキング

5. 主な民間の活動

(1) 富岡製糸場と絹産業遺産群全体

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
各種普及広報活動	富岡製糸場世界遺産伝道師協会	通年 (のべ218回)	イベント会場や学校での解説、体験等
伝道師養成講座	富岡製糸場世界遺産伝道師協会	H28.3.3~5	新たな伝道師の養成
世界遺産キャンペーン	シルクカントリーぐんま連絡協議会	H27.6.27~28	ショッピングモールでの展示・体験イベント
シルクカントリーぐんま絹の国サミット	シルクカントリーぐんまプロジェクト実行委員会	H27.10.3	事例発表、パネルディスカッション
各種普及広報活動	NPO産業観光学習館	通年 (11回)	スタディーツアー・研修会などの実施

(2) 富岡製糸場関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
観桜会	観桜会実行委員会	H27.4.4~5	場内の桜の花見と各種交流イベント
世界遺産特殊切手販売・記念印押印イベント	富岡郵便局	H27.6.25~28	特殊切手の販売と記念印押印
世界遺産学習キッズプログラム	富岡市世界文化遺産活性化事業実行委員会	H27.7.30~8.10 の内の5日間	富岡市内在住の小学生(5・6年生)を対象とした体験学習
富岡製糸場を愛する会講演会	NPO法人富岡製糸場を愛する会	H27.10.31	片倉工業(株)取締役会長の講演会
第2回工女まつり	NPO法人富岡製糸場を愛する会	H27.11.7	工女等の姿で街中を練り歩く
世界遺産講演会	富岡市世界文化遺産活性化事業実行委員会	H28.1.23	世界遺産登録1周年記念講演会
清掃ボランティア	まちづくり推進協議会	通年 (17回)	場内の除草等を実施
	鉄道OB会富岡支部	通年 (6回)	
	富岡市職員共済会	通年 (5回)	
	群馬県市町村職員年金者連盟富岡支部	通年 (3回)	
	株式会社ミツバ	H27.5.23	
	日本光電富岡株式会社	H27.7.22	
花壇の維持管理	群馬県立富岡実業高等学校	通年 (6回)	場内花壇に花の定植及び維持管理
座繰り体験	座繰りボランティア	通年・土日祝	来訪者向けの座繰り体験

(3) 田島弥平旧宅関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
来訪者へのおもてなし活動	島村蚕のふるさと会	通年・日曜	桑茶の提供や地元農産物の販売等
深谷花フェスタでの繭クラフト体験	みちくさ塾	H27.5.2	まゆクラフトの作製体験
島村渡船フェスタでの解説活動	ぐんま島村蚕種の会	H27.5.31	パネル展示と島村散歩ガイド
世界遺産登録1周年記念フェスタ	世界遺産登録1周年記念フェスタ実行委員会	H27.6.21	野菜等の販売、芸能発表会、写真展、大型養蚕農家公開、お茶会等
親子で楽しむまち歩きと世界遺産「田島弥平旧宅」ペーパークラフトづくり	いせさき街並み研究会	H27.11.29	境島村の養蚕農家めぐり、田島弥平旧宅のペーパークラフトづくり
市民ボランティアフェスティバルでの解説活動	ぐんま島村蚕種の会	H28.2.5	田島弥平旧宅の紹介パネル展示等

(4) 高山社跡関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
解説ボランティア	高山社顕彰会	通年 (33回)	来訪者に対して価値を解説
高山社跡大学生ボランティア	群馬医療福祉大学	通年 (36回)	解説員の補助や見学者の血圧測定等
高山社跡建物内清掃	まゆ花の会	H27.4.7	母屋内の清掃活動

(5) 荒船風穴関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
現地除草活動	荒船風穴友の会	H27.7.18	外来植物の除草
年末大掃除イベント	荒船風穴友の会	H27.12.2	冬季閉鎖前に清掃、除草等を実施
風穴友の会学習会	荒船風穴友の会	H28.3.13	荒船風穴に係る学習会を開催

6. 群馬県及び各市町からの発行人一覧、群馬県提供写真利用許諾件数

(1) 群馬県

名称	発行部数	概要
世界遺産多言語ポスター	1,500	PRポスター
富岡製糸場と絹産業遺産群リーフレット	70,000	世界遺産としての価値を普及するリーフレット
子ども向けパンフレット	50,000	価値を子ども向けに解説するパンフレット
ぐんま絹遺産ストーリー別ガイドブック	60,000	ぐんま絹遺産をストーリーごとにまとめ、その歴史や魅力を発信するガイドブック
書籍「いってみよう！富岡製糸場と絹産業遺産群」	25,300	小学校4～6年生を対象にした、「富岡製糸場と絹産業遺産群」を社会科見学する際の事前学習教材
平成26年度「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報	1,000	平成26年度における出来事や事業記録をまとめた冊子

(2) 富岡市

名称	発行部数	概要
見学者用しおり（一般用・日本語版）	1,130,000	一般用・見学者用しおり
（一般用・英語版）	10,000	
（一般用・フランス語版）	10,000	
（一般用・中国簡体字版）	10,000	
（一般用・中国繁体字版）	10,000	
（一般用・韓国語版）	10,000	
チラシ（日本語版）	200,000	場外で配布する案内チラシ
（英語版）	30,000	
（フランス語版）	30,000	
ガイダンス展示室内用4種類パンフ	160,000	ガイダンス展示室内に置くパンフレット
お富ちゃん見学ポイント街中おもしろマップ	160,000	富岡製糸場の見学ポイントと街中のポイントを載せたマップ
平成27年度富岡製糸場総合研究センター報告書	700	調査研究の成果を発表

(3) 伊勢崎市

名称	発行部数	概要
国指定史跡田島弥平旧宅	50,000	A4版4頁、史跡解説パンフレット
田島弥平旧宅と島村散策	20,000	A3版、散策ガイドマップ
ポスター	2,800	B2版
パンフレット	30,000	A4版8頁
リーフレット	90,000	A4版
中国語版リーフレット	10,000	A4版、上記リーフレットの中国語訳

(4) 藤岡市

名称	発行部数	概要
見学者用リーフレット	100,000	高山社の歴史や功績等を解説
多言語リーフレット	40,000	外国人見学者向け、多言語版リーフレット

(5) 下仁田町

名称	発行部数	概要
荒船風穴観光用リーフレット	10,000	富岡市方面から荒船風穴までのアクセス、見学情報を紹介したパンフレット

(6) 群馬県提供写真利用許諾件数

県内市町村…8件、他県…1件、民間企業等（※）…47件

（※）民間企業等の利用目的の主な内訳

広告・広報…14件、書籍・雑誌…11件、機関誌掲載…2件、旅行商品パンフレット…5件、その他…15件

利用案内

富岡製糸場

- 【場所】 富岡市富岡1-1
- 【交通】 公共交通機関／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分
車／上信越自動車道富岡I.C. から各市営駐車場まで約10分、
有料駐車場から徒歩約10分、無料駐車場から徒歩約20分
- 【時間】 9時～17時（受付は16時30分まで）
- 【休日】 12月29日～31日※点検・整備等で臨時休場となる場合があります。
- 【料金】 大人1,000円、高校・大学生（要学生証）250円、小・中学生150円
- 【見学ガイド】
定時解説（約40分）あり
（有料1人1回200円）
- 【問合せ先】
富岡市観光おもてなし課
TEL 0274-62-5439
※本書記載事項に関する問い合わせ先
富岡市富岡製糸場保全課
TEL 0274-64-0005

田島弥平旧宅

- 【場所】 伊勢崎市境島村2243
- 【交通】 公共交通機関／JR高崎線本庄駅からタクシー約20分、東武伊勢崎線境町駅からタクシー約15分、JR上越新幹線本庄早稻田駅からタクシー約25分、土日祝のみ東武伊勢崎線境町駅から無料シャトルバス約25分
車／関越自動車道本庄児玉I.C. から駐車場まで約20分、駐車場から徒歩約10分
- 【時間】 9時～16時
※個人宅で現在も居住しているため、見学の際はご配慮ください。見学範囲は庭及び桑場1階。その他の建物内部は非公開。
- 【見学ガイド】
無料定時ガイドあり／詳細は、田島弥平旧宅案内所に問い合わせください。
- 【問合せ先】
田島弥平旧宅案内所
TEL 0270-61-5924
伊勢崎市教育委員会文化財保護課
TEL 0270-75-6672

高山社跡

- 【場所】 藤岡市高山237
- 【交通】 公共交通機関／JR高崎線新町駅またはJR八高線群馬藤岡駅からバス約35分、JR八高線群馬藤岡駅からタクシー約25分（観光タクシーあり）
車／上信越自動車道藤岡I.C. から約20分、駐車場から徒歩約5分
- 【時間】 9時～17時（6月～8月は18時まで）
- 【休日】 12月28日～1月4日
- 【見学ガイド】
解説員が常駐（無料）
- 【問合せ先】
藤岡市教育委員会文化財保護課
TEL 0274-23-5997

荒船風穴

- 【場所】 下仁田町南野牧甲10690-1外
- 【交通】 公共交通機関／上信電鉄下仁田駅からタクシー約30分（観光タクシーあり）
車／上信越自動車道下仁田I.C. から約50分、駐車場から徒歩約20分
《注意》急勾配な山道のため、動きやすい服装でお越しください。
- 【時間】 9時30分～16時（受付は15時30分まで）
- 【休日】 12月～3月は冬季閉鎖
（下仁田町歴史館では、荒船風穴に関する資料を展示しているのご利用ください。）
- 【料金】 大人500円（下仁田町在住者は無料）
- 【見学ガイド】
解説員が常駐（無料）
- 【問合せ先】
下仁田町歴史館
TEL 0274-82-5345

平成27年度 「富岡製糸場と絹産業遺産群」 年報

編集・発行 群馬県企画部世界遺産課
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

発行日 平成29年2月

印刷・製本 上毎印刷工業株式会社